

マイム・マイム Mayim Mayim

イエス時代には、「仮庵祭（仮庵の祭り）」（7日間）では、毎日「水取りの儀式」がシロアムの池で行なわれます。大祭司がきれいな衣を着て金の杓子をもってシロアムの池から水を汲み、それをエルサレム神殿にまで運びます。その時に、イザヤ書 12:3 を歌いながら、神殿までその水を運ぶ行列をするのです。そして、神殿の祭壇の回りを一度回り、水を祭壇のそばに置かれた容器に注ぐのです。

最後の7日目（ヨハネによる福音書 7:37 祭が最も盛大に祝われる終わりの日）には、神殿の祭壇の回りを7度回り、水を容器に注ぎます。⇒この日（乾季から雨季へ移行）から、秋（前）の雨の雨乞いの祈りが始まる。→仮庵祭に朗読される聖書箇所=①ゼカリヤ書 14:1~21、②エゼキエル書 47:1~23

「マイム・マイム(Mayim Mayim)」は、開拓地で水を掘り当てて人々が喜ぶさまを歌ったイスラエルの楽曲です。フォークダンスで学生時代、皆と一緒に躍った曲です。

「マイム・マイム」の原題は「ウシャヴテム マイム U'sh'avtem Mayim (ושאבתם מים)」で、直訳すると「あなた方は水を汲む」という意味です。

この歌詞は、イザヤ書 12:3 「U'sh'avtem mayim be-sasson Mi-ma'ayaneh ha-yeshua あなたたちは喜びのうちに／救いの泉から水を汲む。」という聖句がそのまま使われています。

「マイム mayim」はヘブライ語で「水」、「ベッサンソン be-sasson」は「喜びのうちに」を意味しています。

マイム・マイム(Mayim Mayim) [ヘブライ語歌詞と日本語訳] https://www.youtube.com/watch?v=trMj65wx_C4

ウシャヴテム マイム ベッサンソン 「あなた方は喜びのうちに」

ミイマイエネハイエシュア 「救いの泉の水を汲む」

マイム・マイム・マイム・マイム 「水、水、水、水を」

ミイマイムベッサンソン 「水を汲むだろう」

ヘイ・ヘイ・ヘイ・ヘイ

マイム・マイム・マイム・マイム 「水、水、水、水を」

マイム・マイムベッサンソン 「救いの水を汲む」

【参考】ヒゼキヤのトンネル

歴代誌下 32:30

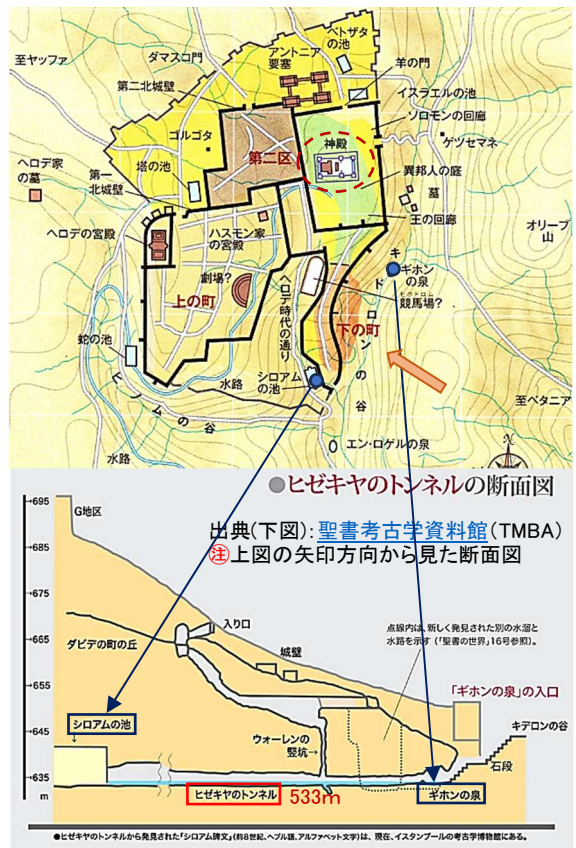
上の方にあるギホンの湧き水をせき止め、ダビデの町の西側に向かって流れ下るようにしたのも、このヒゼキヤであった。ヒゼキヤはそのすべての事業を成し遂げた。

BC700年頃、アッシリアの脅威にさらされたヒゼキヤ王は、敵から水源を守るため、城壁の外にあったエルサレムの水源「ギホンの泉」から、岩盤をくり貫いて地下トンネルを掘り、城内のシロアムの池まで水を引きました。これが、ヒゼキヤのトンネルです。（列王記下 20:20）。

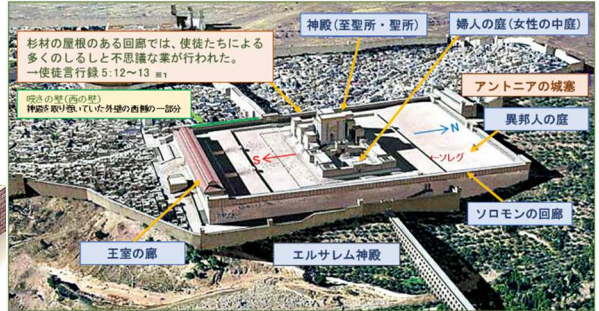
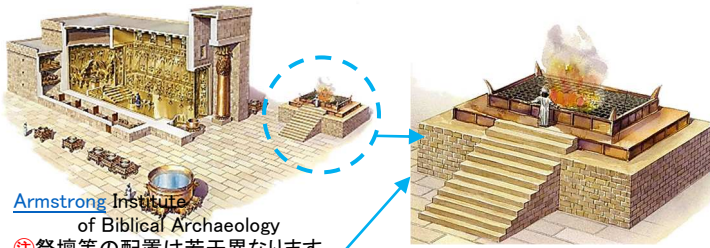
シロアム碑文（シロア碑文、シルワーン碑文、イスタンブール考古学博物館）は、ギホンの泉からシロアムの池へ水を運ぶためのシロアム・トンネルで発見された碑文で、トンネルの建設を記録している。

ヨハネによる福音書 9:7

そして、「シロアム——『遣わされた者』』という意味——の池に行って洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行って洗い、目が見えるようになって、帰って来た。



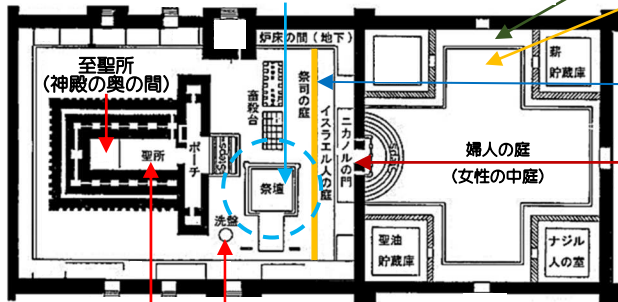
【参考】エルサエム神殿の祭壇 他



Armstrong Institute of Biblical Archaeology
 ⑧祭壇等の配置は若干異なります。

神殿に仕える祭司たちの寝泊まりする部屋

青銅(bronze 銅とスズの合金)の祭壇



賽銭箱 (マルコ 12 : 41、献金箱) が置かれていた。

イスラエル人の庭と祭司の庭は低い壁で分けられ、祭司だけが、壁の向こう側に行くことができた。

イスラエル人の庭への出入口
 ニカノルというユダヤ人が奉献したコリント産の銅で造られた立派な門。
 女性はここから先に入ることはできなかった。

青銅(bronze 銅とスズの合金)の洗盤←本来の青銅は、黄金色や白銀色の金属光沢である。
 (参)黄銅(真鍮:brass)は、銅と亜鉛の合金

聖所には金の燭台(=メノラー、打ち出し造り)と聖なるパン(→神が神殿に臨在することを表す)のための金の机(聖卓:歴代誌下4:8)、香を供えるための香の壇(金の祭壇:列王記上7:48)があった。

【参考】秋の雨(前の雨)・春の雨(後の雨)

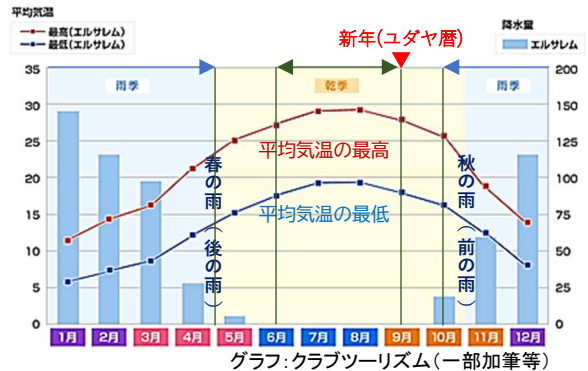
パレスチナの降雨は10月頃から4月頃に集中し、乾季の終わりを告げる最初の雨が秋に、雨期の最後の雨が春に降る。

秋の雨(直訳:前の雨、10~11月頃)は畑を耕して種を蒔く準備に必要であり、

春の雨(直訳:後の雨、4~5月頃)は穀物や果物の生長を助けるのに必要とされ、農夫たちは収穫を大きく左右する豊かな春の雨を待ち望んだ。

収穫は、5~10月頃の乾季に行われる。

- 春: 穀物の収穫(初穂の収穫)
- 秋: 果物の収穫



【参考】シロアム

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 3 / 聖句等の総数 33250 (シロアム)3個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: シロアム]
S ルカによる福音書	13:4 また、シロアムの塔が倒れて死んだあの十八人は、エルサレムに住んでいたほかのどの人々よりも、罪深い者だったと思うのか。	
S ヨハネによる福音書	9:7 そして、「シロアム——『遣わされた者』という意味——の池に行って洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行って洗い、目が見えるようになって、帰って来た。	
S ヨハネによる福音書	9:11 彼は答えた。「イエスという方が、土をこねてわたしの目に塗り、『シロアムに行って洗いなさい』と言われました。そこで、行って洗ったら、見えるようになったのです。」	

【参考】 神 殿

第一 神 殿 (ソロモン神殿)

BC1000年頃、イスラエルの二代目の王ダビデ(在位:BC 1010~970頃)が建設を計画し、その息子のソロモン王(在位:BC 971~BC 931頃)によってエルサレム旧市街、神殿の丘に建設された神殿(ソロモンがイスラエルを支配してから4年目に建設を始め7年後に完成した)。

BC 587/586年、バビロン(バビロニア軍)のネブカドネツアル二世がエルサレムを占領(エルサレム攻囲戦)、ユダヤ人はバビロンに捕囚となり、神殿も破壊された。

第二 神 殿 (エルサレム神殿、ヘロデ神殿) →ヘブライ語で「ヤハウエの家」と呼ばれた。

BC 539年頃、ペルシアのキュロス二世がバビロンを占領、バビロンに捕囚となっていたユダヤ人は解放され、帰国と神殿の再建を認めた。バビロンのネブカドネツアル二世によって破壊されたソロモンの第一神殿に代わって、BC 515-ダレイオス王の治世第六年(BC 516年)に、ゼルバベルの指揮でエルサレムの神殿の丘に建設された神殿(近隣の民による絶えざる妨害により、神殿再建の事業はBC 536年から520年まで中断を余儀なくされた→エズラ記4:4~5、6:14~15)。

後、ヘロデ王(在位:BC 37年~BC 4年)がBC 20年から増改築工事を開始し、AD64年によりやく完成した(完全改築に近い形で大拡張された)ことから、**ヘロデ神殿**とも呼ばれる。AD 70年、ローマ軍によって破壊され、現在は「嘆きの壁」と呼ばれる外壁の一部が残っている。

AD 7世紀末には、この地にイスラム教のモスク(アクサ・モスクおよび岩のドーム)が建てられた。

第三 神 殿 (未完成)

ユダヤ人がエルサレムの「神殿の丘」に再建しようとしている神殿。

【参考】 太陽暦・ヘブライ暦・ユダヤ暦・バビロニア暦

太陽暦	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月(ヘブライ暦)	第一の月	第二の月	第三の月	第四の月	第五の月	第六の月	第七の月	第八の月	第九の月	第十の月	第十一の月	第十二の月	
ユダヤ暦	ニサン Nisan, Nissan	イヤール Iyyar	シバン Siwan, Sivan	タムーズ Tammūz	ア ブ Abh, Av	エルール Elul	ティシュリ Tishri	マルハ シユバン Marcheshwan	キスレーヴ Kislev, Kislev	テベット T'ebheth	シユバット Sabhāt	アダール Adhār, Adar	
バビロニアの月名 ():カナン の古称	ニサン (アビブ)	イヤール (ジウ)	シワン	タンムズ	ア ブ	エルル	ティシュリ (エタニム)	ハシユワン (フル)	キスレウ	テバト	シエバト	アダール	
主な行事	←← 七週間		→→ ②七週祭(シャブオット)→詩編68:2-4を朗読 ①五旬祭(ペンテコステ Pentecoste ギリシア語) ★ユダヤの三大祭:①過越祭、②七週祭、③仮庵祭				1:新年 新年祭(ロシユ・ハシヤナ)※1 10:大贖罪日(ヨム・キップール) ※2 15~21:③仮庵祭(スコット)		25:宮清めの祭(光の祭り、ハヌカ) (25日~8日間)				
	14~21 ①過越祭(バサハ)=ニサンの月の14~21日		①過越祭(過越しの祭り):ニサンの月の14日の日没~15日の日没 ②除酵祭(種を入れないパンの祭り):15日の日没~21日の日没				※1:Rash Hashanah(ヘブライ語) (頭) (年)		※2:Yom Kippur(ヘブライ語) 大いなる贖罪の日 →レビ記16:29、23:27、25:9、民数記29:7				

【参考】 岩のドームは、イスラム教最大の聖地メッカのマスジド・ハラームの中心部にある「カアバ」、「預言者のモスク」(サウジアラビア西部の都市メジナにあるイスラム寺院)に次ぐ、東エルサレムにあるイスラム教の第3の聖地で、イスラム教徒の管理下にある。

南西の壁の外側の一部だけが嘆きの壁としてユダヤ教徒の管理下にある。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教にとって重要な関わりを持つ聖なる岩(Foundation Stone)を祀っている。



出典(図):毎日新聞